

平成29年度『島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会』 総会の開催について

平成29年度の「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会総会」を2月14日（水）に島根県市町村振興センター6階大会議室において開催しました。

この推進協議会は、地域・県民団体・事業者及び行政が連携協力して、犯罪のない安全で安心なまちづくりに取り組むため、平成19年2月に設立されました。

開会にあたり、溝口知事の代理として出席した藤原孝行副知事が出席者に対し、日ごろの活動に感謝の意を表するとともに、子どもの登下校時の見守りや、防犯環境の整備など、地域の安全確保のためにご尽力いただいた皆様の活動に支えられ、県内の犯罪件数は、ピーク時の3分の1となった一昨年よりさらに減少し3000件を下回るなど、大きな成果をあげている。

一方で子どもや女性に対する声かけ・つきまといは、前年より増加し、他県では登下校中の児童が被害者となる事件が発生するなど、予断を許さない状況にある。

特殊詐欺の被害は、件数、被害金額ともに減少したが、県内では依然として1億円を超える大きな被害が発生している。

今後も、私たちが一体となって、県民生活を脅かす様々な犯罪の防止に向けて、粘り強く取り組んでいくことが大切であり、地域ぐるみでの活動を広げ、安全で安心して暮らせるまちづくりに一層のご支援とご協力を賜りたい。とあいさつをしました。



総会では、

- 警察本部生活安全企画課担当者から平成29年中の犯罪情勢に関する説明
- 県環境生活総務課担当者から平成29年中の取組状況及び本協議会の活動方針について

説明及び報告が行われました。

その結果、活動方針については、第4期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画に基づく施策の推進方向と同じく

- 1 県民等による自主的な活動の推進
- 2 子ども、女性、高齢者、障がい者等の安全確保
- 3 道路、住宅等における防犯への配慮
- 4 事業活動における防犯への配慮
- 5 犯罪被害者等への支援の推進
- 6 その他の安全安心まちづくりのための取組

【重点取組】

- 特殊詐欺被害の防止
- 高齢者、子ども、女性みまもり活動の充実・拡充
- 自主的な防犯環境整備の推進

を本協議会の活動方針として、今後も取り組んでいくことが決定しました。

《島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり賞 表彰式》

また、県内の市町村長、警察署長から推薦を受けた、地域活動団体、事業者の中から、審査の結果選ばれた5団体に【島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり賞】を贈呈し、出席いただいた団体に副知事から表彰状が授与されました。

～受賞団体の皆さん～

- 豊川地区子ども見守り隊（益田市）
- 石見銀山テレビ放送株式会社（大田市）
- あんぜんあんしん110番のタクシー（浜田市）
- ふじななんでもこいの会（松江市）
- 久多美子ども安全ボランティア（出雲市）



受賞された団体を代表して、
豊川地区子ども見守り隊
御神本 康一 氏
に「活動事例発表」をしていただき、
ました。

御神本様からは、平成29年1月に見守り活動中に飲酒運転の車両による事故で亡くなられた三原董充氏の功績と事故後、今まで以上に一致団結して、途切れることのない活動を展開している活動の状況について発表がありました。

最後に、本協議会の副会長である立崎正夫警察本部長が平素からの警察行政各般にわたるご理解とご支援に感謝の意を表するとともに、優良防犯活動団体表彰を受賞された皆様方の多年にわたる「高い志」を持った安全安心まちづくり活動に対する敬意を表し、本日の栄誉を心よりお祝い申し上げます。

県下の刑法犯認知件数の減少は、皆様方のような志の高い方々による、子ども・女性みまもり活動、青色回転灯車両による防犯パトロール、防犯カメラの設置促進、犯罪抑止への広報啓発活動等、多数の防犯ボランティアの皆様方の安全安心への熱意ある行動のたまものと認識している。

当県の治安の良さは、皆様方の個々の活動、ネットワークにより守られているものであり、今後とも「高い志」を、形ある「行動」に移していただきますとともに、島根県と島根県民のため、これまで培ってきた、相互のネットワークを大切に日本一治安のよい「しまね」の実現に向け、一緒に取り組んでいただきたいと思います。とあいさつをしました。